

# 考 動

学校教育目標

「たくましい生徒 やさしい生徒」

重点目標 「考動・貢献」

令和6年2月28日

学校だより 3月号

富士市立須津中学校

文責 教頭

## 3月旅立ち・進級！

梅一輪、一輪ずつの暖かさ、松尾芭蕉の弟子である服部嵐雪の句です。校地内も寒さの中に春の息吹を感じさせてくれています。3年生は、私立入試が終わって進路が決まりほっとした生徒もいる一方で、公立入試はいよいよ直前になり、こちらを受検する生徒たちは緊張した日々が続いています。

3月、この時期には、学校の中に明るく、心地よい緊張感がみなぎります。それは、進級への期待であり、人生の節目である卒業式への期待であります。

この1年、地域の皆さま、保護者の皆さま、本校の教育活動に御理解と御協力をいただき誠にありがとうございました。今後ともよろしくお願ひいたします。



一輪だけ開花した梅の花

## 有終の美を飾ろう

いよいよ3月、残る登校日はあと14日となりました。学校では、公立高校の入試が目前です。3年生が進路決定に向けて頑張っている一方、1、2年生はお世話になった3年生に感謝の気持ちを伝えようと、「3年生に贈る会」に向けて練習に取り組んでいるところです。また、それぞれの学年が有終の美を飾れるよう、全職員一丸となって取り組んでまいります。御理解と御協力、よろしくお願ひいたします。

## 『体罰・セクハラアンケート』への御協力ありがとうございました

1月下旬から2月初めにおいて、体罰・セクハラについてのアンケートを実施させていただきました。調査の結果、言葉による案件が1件、報告されました。心に傷を与える言葉も重大事として捉え、二度と同じことが起こらないよう学校での指導を徹底してまいります。今後も生徒の心身の成長を考えた指導を行ってまいりたいと思います。お気づきのことがございましたら、いつでも御意見をお寄せください。



## 民生児童委員さんとの懇談会を行いました

2月1日（木）に本校教職員と民生児童委員さん、主任児童委員さんを交えた懇談会を行いました。各地区から来ていただいた民生児童委員さんから地区の様子や日頃の活動状況を聞いたり、本校職員からは生徒の頑張ったり取り組んだりしていることの共有をさせていただきました。この中で出た様々な意見を日常の学校生活において生徒たちの成長に寄り添えるよう還元していきたいと思ひます。

## 能登半島沖地震への募金について

生徒会を中心に先月に行った能登半島沖地震への募金活動の。生徒の皆さん、保護者の皆様、地域の皆様の御協力により、多くの寄付金が集まりました。感謝申し上げます。収益金を、日本赤十字社に届けるため、須津まちづくりセンターに渡しに行かせていただきました。

